

令和5年度 社の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	85	学校名	仙台市立吉成小学校	校長名	成田 栄子
------	----	-----	-----------	-----	-------

1 取り組みのテーマ

「わたしたちのまわりの環境を整備しよう」



2 取組の紹介

①「ふるさとの杜再生プロジェクト」

3年生の総合的な学習の時間で、震災による津波で失われた荒浜地区の杜を再生するための活動や、その活動にかかわっている人々の思いについて教えていただきました。11月2日には、荒浜地区にある海岸防災林で広葉樹などの植樹活動を行いました。植樹した



苗木が育ち大木になるまでには、20～30年かかると教えられ、震災を直接経験していない子供たちが震災に長くかかわるきっかけとしても意義深い活動となりました。今年度は吉成地域で活動している権現森自然研究会の方々にもお手伝いをいただきました。



②「落ち葉清掃」

吉成学区には公園が多いので、毎年秋に中学生と一緒に落ち葉清掃をしています。小学校からは5・6年生が参加しました。今年度も小中学生が協力しながら、一生懸命落ち葉を拾いました。活動が終わる頃にはとてもきれいになり、持ってきたゴミ袋がいっぱいになりました。



③「花壇の整備」

春と秋の2回、環境委員会が花壇にどんな花を植えるか計画を立て、苗を発注しています。植え付けと管理は各学年が行っており、学年毎に違った花壇のレイアウトを楽しんでいます。今年度は「未来の杜せんだい2023」閉幕後に宿根草の花苗を譲渡していただき、いつも以上に花壇が賑やかでした。

④「ごみの分別」

各教室に普通ごみのほか、プラスチック用ゴミ箱を設置し、ストローの袋やティッシュペーパーの袋の分別を担当が声掛けしています。



3 取組の成果（児童生徒の変容）

- ・小中連携の活動を継続して行ったり、地域の方々の協力を得たりして、「自分たちの住む地域」の活動という意識の高まりが感じられました。
- ・震災について自分事として考えようとする児童が増えました。
- ・学年花壇の世話を通して草花の生長に関心を持つ児童も多く、自然愛護の気持ちが育ってきました。
- ・ごみの分別への意識が高まっています。